

第7回
ひと☆まち児童館
フォーラム in 仙台

～遊びが子どもを育てる～

【開催要項】

子どもたちの遊びの環境が制限されがちであったコロナ禍。日常が戻った今、特に子どもの体力や運動能力、コミュニケーションの能力が低下していると感じることが多くなっています。また、地域の生活の中で、遊びの場や遊びの時間が減っているようにも感じます。

第7回を迎える今回の児童館フォーラムでは、長年、遊びを通した子どもの心と体の育ちについて研究されている山梨大学の中村和彦学長をお迎えして、子どもにとっての遊びの重要性や発達段階に応じた運動遊びについての理解、今求められる大人の役割などについて、所属や地域を越えて共に学び・考える場とします。

- 1 事業名 第7回 ひと☆まち児童館フォーラム in 仙台 ～遊びが子どもを育てる～
- 2 主催 公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
- 3 協力 一般財団法人児童健全育成推進財団
- 4 後援 全国児童館連絡協議会 全国児童厚生員研究協議会
- 5 日時 令和7年2月23日(日) 13:00-16:00
- 6 会場 仙台市戦災復興記念館 2階記念ホール (仙台市青葉区大町 2-12-1)
- 7 総合司会 渡辺 祥子 氏 (フリーアナウンサー・情報誌『りらく』編集長)
- 8 内容 ※YouTube ライブ配信予定 (ライブ視聴の場合は申込不要)

13:00-13:05 主催者挨拶

13:05-14:40 基調講演

「健やかな育みのために 一子どもにとっての遊びの重要性」

講師：国立大学法人 山梨大学 学長 中村 和彦 氏 ※裏面プロフィール参照

14:50-16:00 トークセッション

中村先生と児童館職員や会場の皆さんを交えて、子どもにとっての遊び・運動遊びについて、自由に議論したり語り合ったりします。

名取市下増田児童センター 館長 渡邊 由貴

名取市那智が丘児童センター 館長 齊藤 寿一郎

仙台市蒲町児童館 主任 畑山 友絵

仙台市南光台児童館 主任 齋藤 俊介

9 申込方法

令和7年2月1日(土) 9時から主催者ウェブサイト受付開始 (先着 200名)

対象：どなたでも (児童支援に携わっている方、教員、大学生、子育て中の方など) ※親子参加も可

10 広 報

仙台市内・宮城県内の児童館・児童クラブ、市内の保育所・幼稚園・認定こども園、小学校、県内の大学・専門学校等のほか、各都道府県の県児連事務局などへ開催案内を送付

11 問い合わせ先

(公財) 仙台ひと・まち交流財団 子ども育成課

〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-12-1 TEL 022-268-5084 FAX 022-225-2791

Mail kodomo06@hm-sendai.jp Web <https://www.hm-sendai.jp/jidoukan/>



<講師プロフィール>

中村 和彦

山梨県甲府市生まれ。山梨大学教育学部卒業。筑波大学大学院体育研究科修了。山梨大学教育学部教授、教育学部長、大学院教育学研究科長、理事・副学長を経て、2023年から同大学長。専門は、教育学・発育発達学。文部科学省中央教育審議会高等教育の在り方に関する特別部会委員・同教育課程部会専門部会委員、スポーツ庁スポーツ審議会健康スポーツ部会委員、日本スポーツ協会ジュニアスポーツ指導員部会長、日本オリンピック委員会(JOC)ゴールドプラン専門委員、日本レクリエーション協会理事、日本トップリーグ連携機構常務理事など歴任。



NHK 教育テレビ番組「おかあさんといっしょ」体操コーナー『ブンバ・ボーン』、NHK2020 応援ソング『パプリカ』、YBS 山梨放送コロナに負けるなソング『ゴリラッパンダ』などを監修。2021年10月より、SDGsをテーマとしたNHKプロジェクト「いろとりどり」のダンス『ツバメ』を監修。著書に「子どもの遊び・運動・スポーツ」(市村出版)、「子どもが夢中になる!楽しい運動遊び」(学研教育みらい)、「四快のすすめ」(新曜社)など多数。